

造血幹細胞移植における GVHD 成績の時代的変容に関する研究

1. 研究の対象

1996 年 1 月から 2024 年 12 月まで初回造血幹細胞移植を受けられた方

2. 研究目的・方法

同種造血細胞移植後の移植片対宿主病（graft-versus-host disease : GVHD）は依然として主要な移植合併症であり、重症例では非再発死亡（NRM）を含む予後に大きく影響することが知られています。近年、GVHD 予防法や治療法、支持療法の進歩により、欧米レジストリ研究では GVHD 発症後の治療成績が時代とともに改善していることが報告されています。一方で本邦では GVHD 発症率ならびに発症後の長期生存成績を移植年代別に体系的に評価した報告は限られています。そこで本研究では TRUMP データを用い、GVHD 発症率と治療成績の時代推移を明らかにすることを目的とします。

研究期間：実施許可日から 2029 年 2 月 1 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：治療歴、診療記録、臨床検査データ

4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータ提供は行いません。

5. 研究組織

りんくう総合医療センター 血液内科

久林 正斗

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

りんくう総合医療センター 血液内科

(2023 年 7 月 4 日)

氏名：久林 正斗（研究責任者）
住所：大阪府泉佐野市りんくう往来北 2-23
電話番号：072-469-3111（代表）

研究代表者：
同上

（2023年7月4日）